

連携強化を目的に5機関参加

国見トンネル防災訓練を実施

平成27年度国見トンネル防災訓練が11月25日、同トンネル内で実施され、肝付警察署、町役場、町消防団、大隅肝属地区消防組合、県大隅地域振興局の5機関が参加しました。この訓練は各関係機関の連携強化と初動体制の確立を目的に平成14年12月の同トンネル開通後から、ほぼ毎年行われています。

訓練では乗用車による正面衝突事故に続き火災が発生したという想定で、通報から交通規制、救出、車両火災防衛等を経て道路復旧作業まで一連の訓練に真剣に取り組みました。終了式であいさつした肝属東部消防署長の鳥丸等さんは「事故発生後はただちに侵入車両の寸断、トンネル内の車両の誘導が必要になります。今後、そうした訓練も取り入れてもいいのではないかと思います」と話しました。



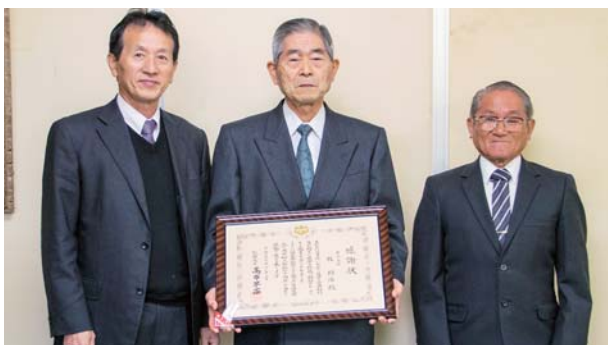
終了式にのぞむ参加者



トンネル内で実施された訓練の様子

選挙関係功労者表彰 牧さんへ感謝状

平成12年から約12年間、選挙管理委員長を務めた牧昭治さんが選挙関係功労者として総務大臣感謝状を授与され、12月9日、町役場で伝達式が行われました。平成27年が国民参政125周年・普通選挙90周年・婦人参政70周年にあたることから実施されたもので、牧さんは「往時の関係者の代表としてもらったと思っております」と話しました。



表彰された牧さん（中央）

畑かん水で 新たな可能性探る

波見地区に建設中の荒瀬ダムからの畑かん水を利用した圃場の現地研修が11月27日、試験的に通水している鳥越地区で行われました。農家や県の職員ら52名が参加し、ニンジンやゴボウの実証圃場や最新の散水器具での水散布などを視察しました。参加者は「水利用の有無での生育の違いがよくわかりました」などと話していました。



ローラーカーによる散水を見学する参加者